

※この会報に、ご寄稿、ご意見、ご質問、ご感想、また『戦争体験』をお寄せください。



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 129

2010(平成22)年3月18日(木)発行

<1933(昭和8)年3月18日、大正昭和期の政治学者・思想家吉野作造の命日>○ 1878年宮城県生まれ。東大卒。東大教授。キリスト教的ヒューマニズムに立脚して文筆活動を展開。デモクラシーに「民本主義」の訳語を与え、普通選挙論や枢密院・貴族院権限縮小論、軍部改革を主張して、大正デモクラシーに理論的根拠を与えた。戦後の憲法研究会の鈴木安蔵の思想にも大きな影響を与え、日本国憲法の思想水脈の一つ。宮城県大崎市古川の「吉野作造記念館」は大変充実している。



▲千人針せんにんぱり 出征兵士の幸運を祈って、家族が街頭に立ち、女性に一人ひと針ずつ赤い糸で縫つてもらった。(写真は大修館書店『新国語要覧』より)

私は昭和五(一九三〇)年五月十二日、阿武隈の山あいの津島村(現浪江町)に生まれ、今年八十歳になります。津島村の小学生高学年の頃、昭和十六年十二月八日戦争が始まりました。津島村のバスの駅から、兵隊さんが出征して行きました。小さな日の丸の旗を振りながら、婦人会の人達にまじり見送りました。駅はいっぱいの人集りでした。JRはいづばいの人達が「国防婦人会」というタスキ

梅の花も咲き始め、福寿草も顔を出しがまし、春の味覚を満喫出来る幸せを感じながら大好きな春到来です。この様な平和を実感出来ますこと、振り返つてみると、あの嫌な戦争という二度とあつてはならぬ出来事を想い出さずにはいられず、忘れられず、六十数年前にみる時、あの嫌な戦争といつてはならない出来事をしてしまいます。

婦人会や青年団の行進訓練

今では馬鹿げた」とですが

鉢巻きをして竹槍をもち勢いよく

若いい人達は「近くに爆弾が落ち水

ました。また、私の家の近くに小学校の運動場があり、村の婦人会や青年団の人達の行進訓練を見に行つたものです。四列に並んでの行進は、足と手と一緒に動かす人があちこちにいながら見ていました。「イチ二一」、二「イチ二一」の号令があり、一段と高い所に軍服姿の偉い人がおり、その前を通る時、班長の人が「カシラ一右生懸命でした。

私は兄と一緒に、小高町の今村さん宅の二階を借り、自炊しますが、炊事は下で行いました。焚き付けは小高神社の裏山で、今では安全な所に逃げなければなりません。ある夜は今村さんの子供を下はゴムの入ったズボンでしたが、下

戦時中の思い出

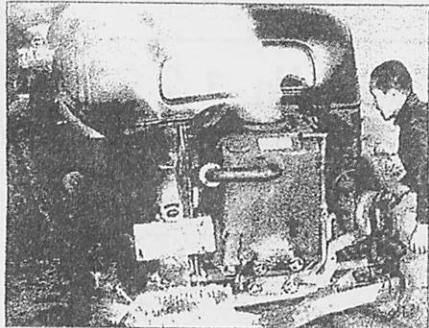
原町区馬場 羽根田ヨシ

突つ込めー」「ヤー」と走つて行つて人形を突く光景は、今考えると本当に馬鹿げたことですが、戦時中はそんな光景もありました。

小高町の農学校に入学

私は兄と一緒に、小高町の今村さん宅の二階を借り、自炊しますが、炊事は下で行いました。焚き付けは小高神社の裏山で、今では安全な所に逃げなければなりません。ある夜は今村さんの子供を下はゴムの入ったズボンでしたが、下

(表のページより)



▲木炭自動車 ガソリン不足から自動車もバスも木炭バスに変わる。運転手も男性が出征していて女性運転手に変わったところも多かった。(写真・とうほう『日本史総覧』より)

勿論学校では、草刈り、そして田植えの農作業があり、田んぼは小高い田浦の干拓での作業。学校から長い道のりを歩いて行き、田に入ると恐ろしい程大きなビルに吸いつかれ、みんなで騒ぎしたことなどありました。

木炭バスは女性の運転手で途中で止まってしまい…

地い父にで兄に令
繰戦召星のわしの戦状
り争羽すた羽わ
争不生安が
は本當に恐ろし
い。赤紙(召集
集で助かりました。
返してはいけません。
は本当に大変です。
あんなこと

抹れ者べた。
戦のたにら
争は本當に恐
い。赤紙(召集
集で助かりま
した。が内す
叔日秀

今は恵まれている時代ですが

たされ
で間に江駅に着
ました。一日も欠席は無かつたので、初めて汽車学校には歩いた時も、すでに汽車学校には歩いたことがあります。それまで私はこの道をよく歩いたものと、今まで歩いたことなど、遠い記憶がよみがえつて参ります。

- 4月24日(土)1時~2時「はらまち九条の会」総会 2時~4時「蓮池透さん講演会」
○4月29日(木・昭和の日)1時30分~4時30分 星浩氏講演会「戦後政治と憲法」
主催:福島県九条の会 会場:福島県文化センター 協力券1,000円 <別紙チラシ参照>
第1部リレートーク・第2部奏でよう平和への願い・第3部講演会(協力券は事務局山崎まで)
○5月15日(土)「いのちの山河」第2回上映会 会場:小高区浮舟文化会館



事務局より

◆「いのちの山河」上映会も、4月24日(土)の「蓮池透さん講演会」も、小高九条の会との共催です。小高さんと協力して開催すると、本当に心強く、事務手続きも労力も半分で済み、本会事務局では感謝しています。

◆本会会費1,000円は1月から12月までの年会費ですが、今年から会費の納入期限は

6月とさせていただきます。未納の方は直接事務局員に手渡すか、総会での納入、また5月に送付の「郵送支払い用紙」で納入をお願いいたします。

◆「政権交代は政権後退だ!」とコメディアンの松元ヒロさんは話していますが、この政治の混乱ぶりはどうしたことでしょう。一挙に「憲法改定・9条改訂」ということもあります。決して油断はできません。監視と学習を深めましょう。

「はらまち九条の会」事務局員連絡先(市外局番 TEL0244)

○平田慶肇会長 TEL24-1211

○山崎健一事務局長 TEL22-8631(〒975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2)

○井上由美(会計) TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二 TEL22-4037

○早坂吉彦 TEL22-0326 ○番場恵子 TEL22-0715

